



ちょっと休憩したい時、

ちょっと集中したい時、

私たちはチョコレートをかじる。

それだけで、なんだか力が湧いてくる。

日光はまさにそんな場所。

ふらっと来れば疲れが吹き飛ぶ。

いつもと違う空気の中でアイデアが生まれる。

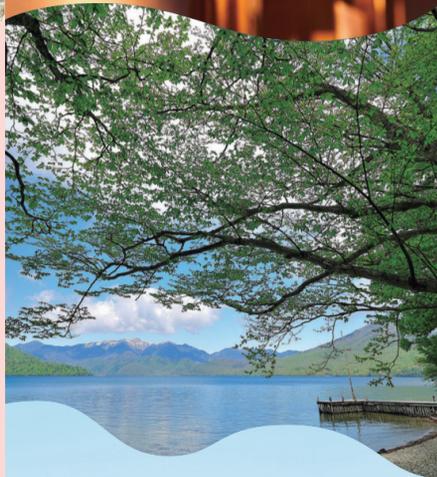
チョコレートのように、

もっと身近に日光を味わってほしい。

そんな想いから生まれました。

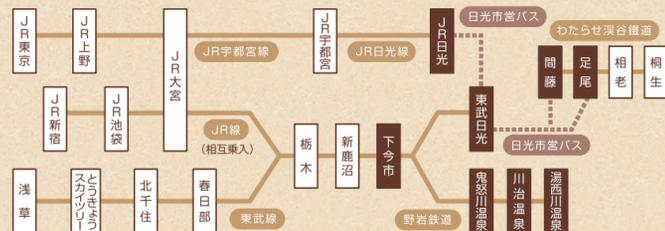
「CHOCOTTO NIKKO」

まずはひとくち、いかがですか？

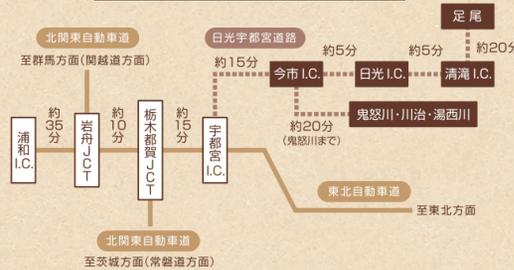


## 日光市へのアクセス ACCESS

### 公共機関をご利用の場合



### 車をご利用の場合



日光市役所 企画総務部秘書広報課

〒321-1292 栃木県日光市今市本町1番地  
TEL.0288-21-5135

Would you like a bite of Nikko?



おいしい日光を、ちょこっといかが？



## 日光とチョコレート ～和と洋の出会い～

日光市は、和と洋の融合によって発展してきた地です。

特に奥日光、中禅寺湖畔は、明治から昭和初期にかけて、外交官をはじめ多くの外国人が避暑に訪れていました。

英国外交官A・サトウや実業家のT・グラバーをはじめ、最盛期には大使館や外交官の別荘が40棟以上建てられ、「夏は外務省が日光に移る」とまで言われ、国際的避暑地として栄えました。

そして、多くの外国人の方がこの地で釣りやゴルフなどを楽しんだと言われており、

西洋菓子の象徴でもある甘く贅沢なチョコレートを嗜みながら、

湖畔でリゾート気分を満喫していたものと思われます。

明治期の外国の方が日光の新たな魅力を発見・発信していったように、

日光市もチョコレートを活用して、「古くからあるもの」から、「新しくできたもの」まで、

新しい光をあてて、新たな魅力を発信していきます。

